

くめじま

議会だより

2011.6.1

No. 36

右みて左みて

横断歩道を渡ります



3月定例会

一般会計予算修正可決

2

予算特別委員会

3

3月議会で決まったこと

4

町政を問う 一般質問

5

ちばりよー東北

10

議会のうごき

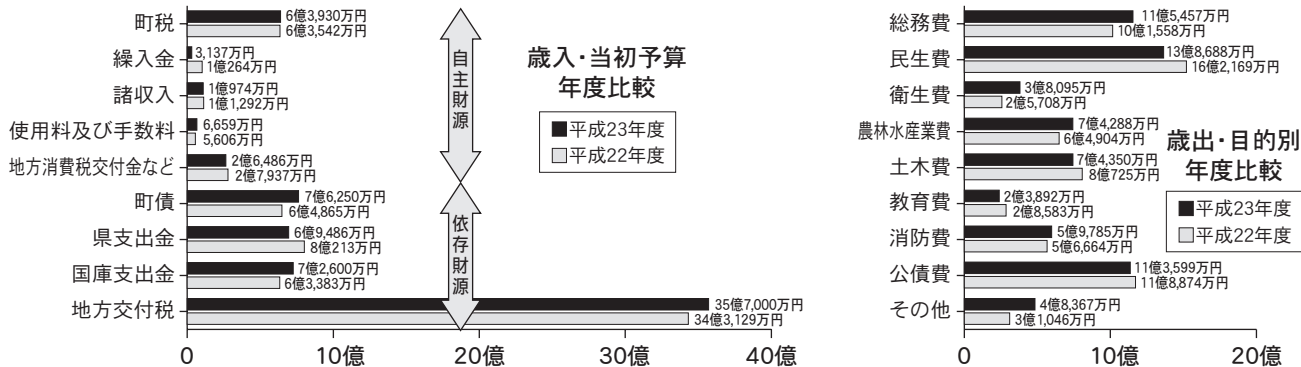
11

傍聴席より・叙勲受賞 新里昌永さん

12

68億6528万円を修正可決

町民と行政が知恵を出し合い協働する町づくり



新たな施策 久米島町長施政方針（要旨）

【プロジェクト事業】

- 海洋温度差発電複合利用事業の導入に向け協議会を立ち上げる
- ゴルフ場開発に向けた計画策定

【農業部門】

- 農産物加工施設の整備（修正可決※下記参照）
- 久米島ブランド牛の確立と生産拡大（沖縄県和牛生産拠点産地に認定されている）

【商工部門】

- 特産品開発及び事業化
- 久米島紬の販路開拓や後継者育成
- 久米島海洋深層水関連商品の全国展開を支援

【観光部門】

- 外国人観光客対応の人材育成

【福祉部門】

- 小規模特養施設と、小規模多機能施設の整備促進
- 「ヒブ」・「小児肺炎球菌」及び「子宮頸がん予防」ワクチン接種への助成

平成23年度一般会計予算が修正可決

農産物加工施設整備にまった



3月定例会では、一般会計予算案に計上されていた農産物加工施設整備事業関連予算（1億6146万円）の削減を求める修正案が提出されました。質疑、討論の後、一般会計補正予算は賛成多数により修正可決されました。

原案に賛成の討論（要旨）

■ 幸地良雄議員

計画内容については、予算特別委員会においてみっちり真摯に審査した。町長の施政方針で今年度の新たな施策の一つとして野菜農家の増大と、農業所得の向上を図るため農産物加工施設を整備することになっている。さらに、特産品開発及び事業化も計画されており、時宜を得た施策であり、久米島再生に繋がるのではないかと。

■ 喜久里猛議員

計画当初はやはり、甘い計画であった。しかし我々の意見を踏まえて、ある程度見直し、今後も検討していくということである。さらに町民の方々から、要望書が出ているが、今後の久米島を心配していることだと私は考える。この加工施設が整備された場合には、このような行動をする彼らによる、努力が期待できる。

修正案に賛成の討論（要旨）

■ 宇江原総清議員

農産物加工所を整備するために事業費の一部を町は国から起債（借り入れ）する。それを運営会社より10年間で取り戻すという事だが、経営計画が甘い。以前、年々赤字になると説明したバーデハウスは多額の累積赤字を出している。国の補助事業も、十分に審議して進めなければ、将来、大きな借金を背負って破綻することになる。

■ 仲村昌慧議員

農産物加工所の建設は、多くの町民が望んできた。しかし、農産物の原料の確保が不十分であり実現に至らなかった。久米島の農家実績、これまでの推移からすると、非常に厳しい。私たちも農業振興、農業所得向上から農産物加工所は本当に必要なだと思っている。しかし、充分議論されおらず、見通しの甘さが危惧される。

予 算 審 査 報 告

予算審査は、議長を除く13人の委員で構成された特別委員会を設置し、3月11日（金）、14日（月）、15日（火）の3日間にわたって審議しました。審査の中から、主な質疑内容を報告します。

一般会計

問 全国離島甲子園負担金の内容は。

また、今年度派遣した生徒のマナーが悪かったと聞いているが、23年度の取り組みは。

答 全国の離島の中で野球大会で、今回は愛媛県の宇和島町の離島開催でその派遣費となる。マナーについては十分に監督、先生、学校と協議して派遣したい。

問 学校統廃合検討委員会が平成22年度は予算を計上しながら1回も実施していない中で、23年度も同じように予算計上されているが、23年度は何回の検討委員会を予定しているか。

22年度は予算を計上しながら1回も実施していない中で、23年度も同じように予算計上されているが、23年度は何回の検討委員会を予定しているか。

答 22人程度の委員で3回を予定している。

問 久米島高校と中学校の中高一貫教育を行っているが、今年度の久米島高校への進学率は。また、高校入試がないということ

で、勉強しなくなり学力低下につながっていないか。

答 3中学の107人の卒業生で、中高連携で久米島高校に進学したのが69人で約65%、島の高校に進学したのが32人で30%になる。また、学力向上について、高校と連携しながら、従来と違った取り組みができないか検討したい。

問 75歳以上の有償バスの無料化に伴う諸証明手数料、産業

医報酬額の条例改正後の額が予算に反映されるべきではないか。

答 有償バスの無料化に関する免除証明書の発行の際には、諸証明手数料が生じない。また、産業医の報酬額については、予算編成後の条例改正で減額補正で対応する。

問 特養老人ホームに入れない待機者が現在何人いるのか。また、新しい老人ホーム施設が計画されているようだが、実施状況は。

老人ホームの待機者は、前の情報で60人から70人と聞いている。また、計画されている老人ホームに関しては、6月着工で11月完成予定と聞いている。

問 バス

問 バーデハウスの目的が町民の健康増進と観光振興と

いうことだが、医療費の軽減額が見えてこない。累積赤字が増える中で、町民のためになつていと思うか。

答 利用者の医療費調査等をした

が、個々の事情等で全体的な医療費だけでは効果の説明はできない状況。今後さらに改善に努力しながら、継続したい。

問 観光客の伸び悩みは、観光協会や商工会補助金を出して任せつきりで、町が指導等ができていないからではないか。

答 今後、指摘等もふまえて、関係係関連携しながら、しっかり取り組んで行きたい。

水道事業会計

問 儀間ダム建設負担金は完了までいくらの負担額になるか。

答 事業完了まで町負担分は、2億6000万円になる。

問 出産一時金の対象は。

答 出産一時金は出産に係る費用は保険適用外になるので、出産に係る費用を個人負担がないよう支援する。また、双子、三つ子の場合はその人数分で支援することになる。

平成23年度 特別会計予算状況

会計名		歳入総額
国民健康保険特別会計		12億 6,144万
後期高齢者医療特別会計		7,596万
下水道事業会計		2億 5,766万
水道事業	収益的収入	2億 1,986万
	収益的支出	2億 1,796万
	資本的収入	1億 2,829万
	資本的支出	1億 9,436万

※水道事業特別会計の資本的収入が資本的支出額に対して不足する額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資本金で補てんする。

平成23年第2回定例会は、3月9日(水)から24日(木)までの16日間の会期で開かれました。
この定例会では、平成23年度の予算をはじめ23議案 1 決議を審議し、1 議案を修正可決、その他は原案どおり可決しました。
10日に一般質問が行われ8人が登壇し、活発な審議が行われました。

補正予算 可 決

- 平成22年度久米島町一般会計補正予算(第7号)
7970万円減額し総額78億6680万円へ
- 平成22年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
1845万円減額し総額12億7167万円へ
- 平成22年度久米島町下水道事業特別会計補正予算(第4号) 総額2億6850万円(財源振替)

23年度予算 一部修正可決

- 平成23年度久米島町一般会計予算
- 平成23年度久米島町国民健康保険特別会計予算
- 平成23年度久米島町後期高齢者医療特別会計予算
- 平成23年度水道事業会計予算
- 平成23年度下水道事業特別会計予算
※一般会計は一部修正可決。特別会計は全員賛成
→詳しくは2・3ページをご覧ください

条例の改正 可 決

- 久米島町職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- 久米島町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
- 久米島町職員の給与に関する条例の一部改正
①法改正に伴い、男女ともに子育てしながら働き続けることができるよう、父母ともに育児休業を取得する場合の休業可能期間の延長などの改正や所定外労働の免除など
②法律改正に伴い、時間外労働の削減や時間外勤務手当の引き上げ
- 久米島町職員定数条例の一部改正
職員減少に伴い183人から13人減の170人へ
- 久米島町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
他市町村との比較に基づき、学校医等の非常勤特別職報酬額の見直し
- 久米島町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例及び、久米島町教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正
他市町村との比較に基づき特別職の給料を見直し
- 久米島自然文化センター条例の一部改正
- 久米島自然文化センター使用料徴収条例の一部改正
久米島博物館へ施設名称を変更
- 久米島町有償バス条例の一部改正
75歳以上の高齢者の生活負担軽減を図るため、久米島町有償バス使用料を免除する

- 久米島町課設置条例
職員数が大幅に減少することから、これまでの部門制を廃止し、課の統廃合を行い、効率的な行政執行体制を構築する

- 久米島町妊婦等支援基金設置条例の一部改正
交付金額を弾力的に運用できるようにする

請負契約 可 決

- 久米島多目的公園整備工事
契約の方法 指名競争入札
契約の金額 9937万円
契約の相手 株式会社ひらた産業

協議議案 可 決

- 訴えの提起
硫黄島島の所有権を久米島町が有することを確認するため
- 債権の放棄
町有地貸地料及び学校給食費の時効期間が満了した債権の放棄
- 第1次国土利用計画
国土に関するすべての計画を総合的かつ一体的に体系化するため計画を策定

決議 採 択

- ケビン・メア前米務省日本部長の発言に対する抗議決議

● 沖縄県民の怒り！ ケビン・メア氏へ ●

2010年12月、ケビン・メア米務省日本部長が首都ワシントンで行った米大学生らに対する講義の際の発言は、基地のない平和で安心・安全な沖縄県をつくることを節に願ってきた沖縄県民の心をまさに踏みにじるものであり、県民を愚弄し、侮辱した発言にほかならず、断じて許せるものではない。

偏見と差別意識に根差した今回の発言が県民を侮辱し、その尊厳を著しく傷つけ到底許しがたいものであることに鑑み、今後二度とこのような差別的言動が繰り返されることのないよう、ケビン・メア米務省日本部長本人に対し、発言の撤回と沖縄県民への謝罪を強く要求すると共に、米務省長官及び駐日米国大使に強く抗議する。

提出先 米務省長官／駐日米国大使／
在沖米総領事／前米務省日本部長



仲村昌慧 議員

問 平成23年度予算 住民の立場で公平に

学校のワゴン車は町で購入し、公民館の管理は協定で方針を明確にする

答

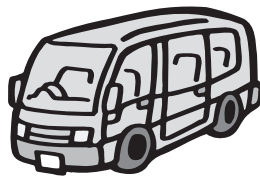
仲村 予算は住民のためであって、住民全体の立場に立った公平なものではなくてはならない。去る2月の臨時会において、美崎小学校に全額公費負担で10人乗りの車輛を購入することになった。これまでは、同様の車輛は各学校で計画的に予算を捻出して購入してきた。予算の公平からすると、今後、同様の車輛購入の際には当然、町負担すべきでないか。

平良町長 これまで学校の購入については、各学校で予算づくりをしてきたが、ワゴン車の購入については、計

画的に町負担として整備する。

仲村 公民館の修繕費も町負担しているが、今後の方針はどう考えているか。

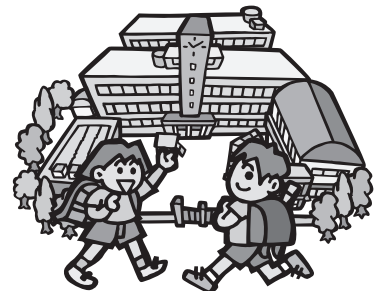
仲村渠総務課長 公平さが確保できるように、指定管理制度になっている公民館については、管理協定の中で明確な方針を打ち出していきたいと考えている。



問 学校統廃合 真剣に取り組んでいるか

平成25年度を目標に推進していきたい

答



仲村 中学校の統廃合は平成25年度を目標としているが、平成22年度は学校統廃合検討委員会が一度も開催されず、全く進展していない。本当に統廃合について真剣に取り組んでいるのか。

仲村 学校統廃合について躊躇している理由は何か。

比嘉教育長 平成22年度は久米島校区での説明会や久米島中学校保護者との意見交換も実施したが、学校統廃合検討委員会を開催できなかったことをお詫びする。

比嘉教育長 学校教育、社会教育あたりの分野に目が行き、学校統廃合について疎かになったが、教育委員会の事務量から考えると、今の職員では対応できなかったという側面もある。今年の4月から人員を1人配置して、25年度を目標に統廃合を推進していきたい。

これも質問

問

行財政改革の具体的な取り組みは？
本年度は保育所の民営化や学校の統廃合に重点を置く

答

問 海洋温度差発電 協議会立ち上げの具体的計画は

調査報告をもとに産官学連携組織を
立ち上げ、実証事業に取り組みたい

答



宮田勇 議員

宮田 次年度の施政方針にプロジェクト事業として「佐賀大学や企業等と協議会を立ち上げ取り組む」とあるが、具体的な計画を伺いたい。

平良町長 平成22年度に実施した緑の分権改革推進事業で提出された調査報告書を基に、佐賀大学等の研究機関や熱交換器の企業及び発電機の企業などと産官学連携組織を立ち上げ温度差発電の実証事業ができるよう取り組んでいきたいと考えている。

宮田 この件については12月議会にも取り上

げたが、海洋温度差発電複合利用事業が実用化されるということは久米島にとって多角的あらゆる産業を生み出し、そこからまたらす発展は計り知れないものがある。幸いに久米島は立地条件もよく、既存の海洋深層水研究所もあつて条件整備も整っている。答弁で緑の分権改革推進事業で実施した調査報告を基にとあるが、その内容は。



▶佐賀大学海洋エネルギー研究センター視察研修

問 観光振興 ゴルフ場開発誘致、桜まつりの今後の計画と取組は

ゴルフ場の計画策定は周辺住民の意向把握等を予定
桜まつりは全国へアピール

答

宮田 ゴルフ場開発誘致に向けた計画策定業務はどのような形になっていくか。

また、去る2月5日・6日の両日、久米島桜まつりが行われたが、参加者、誘客が少なく盛り上がりがなかった。久米島の一大イベントとして位置づけて取り組むべきである。今後の開催に向けて計画、取組を伺いたい。

平良町長 ゴルフ場の計画策定業務は、整備候補地域の現況把握、開発基本方針の検討、基本設計、また周辺住民の意向把握等を予定

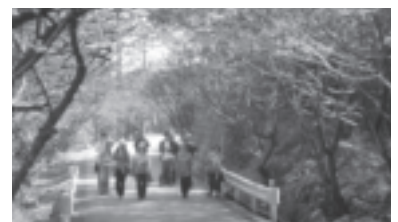


している。

第1回久米島桜まつりは、両日、昼から夜までの日程で、来場者の少ない時間帯もあったが、来場者は1600人余ほどあった。今回は、県内の4大桜まつりの一つとして取組、全国へアピールし、観光誘客へつなげて行く。



▲桜まつり
カラオケ大会で“UFO”をかわいく熱唱



▲桜まつり
桜並木をウォーキング



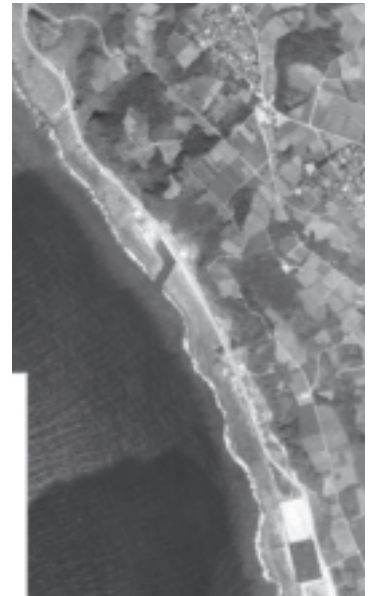
宮里洋一 議員

問 災害時の避難道の整備を

補助事業も視野に入れ、整備に向けて検討する

答

宮里 災害時の避難道の整備について、具志川城跡から空港北側の海岸道3・5kmの間に普通自動車の通れる避難道がない。久米島マラソンコースになっていて、万が一災害が発生したときは逃れる事ができない。このことについて町長はどう考えるか伺いたい。



平良町長 質問の道路間につきましては、台風時及びその他異常気象時には、通行止め等を施して通行者の安全を確保している。緊急災害時においては、緊急用道路の必要性はあると思われるので、今後、整備に向けて検討したいと思う。

仲村渠総務課長 災害時の避難道路の整備については、その必要性については身をもって体験しており、建設課長と、どういったメニューで整備できるか勉強して、できるだけ早く期待に応えられるように頑張っていく。

問 行財政改革 平成22年度までの進捗状況は

平成20年度から
約2億3000万円を削減

答

上里 平成19年9月定例議会で質問をした際には、次のような答弁をもらっている。「経費削減等の財政効果として、平成17年度から平成19年度までの間に公共事業費を含む約7億円の削減目標を掲げていたが、決算見込みで約9億の削減となり、2億円の効果が図られた。」となっている。そこで、平成20年度から22年度までの進捗状況は。

平良町長 集中改革プランは、平成17年度から平成21年度までの5か年の計画で、目標値をほぼ達成している。

平成20年度から平成22年度までの削減額としては、約2億3000万円。

上里 平成23年度の施政方針の中でも公共施設の統廃合や事務事業の見直しなど、行財政改革にも重点的に取り組むとなっている。一般財源が投入されている自然文化センター、バーデハウス、ウミガメ館、ホテル館等が検討される可能性があるのかどうか。

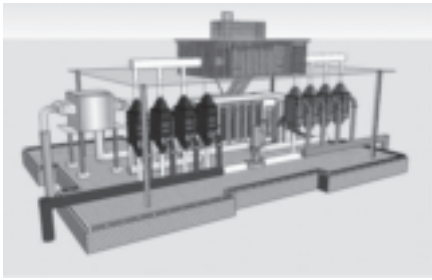


上里総功 議員

問 温度差発電の早期誘致と 鳥島の早期返還を

鳥島が海洋温度差発電の障害とは考えていない

▶海洋温度差発電プラント
(イメージ図)



宇江原 久米島商工会の調査で、人口がここ8年間で832人の減少となっていることが分かった。私は、久米島の財政立て直しは「これだ」と考えている。一つは、海洋深層水利用の温度差発電の



宇江原総清 議員

早期誘致とC.A.S.冷凍の導入。二つ目は、温度差発電設置に伴い、その障害となる鳥島射爆撃場の早期返還を主体性で勝ち取ること。三つ目は、自然への回帰。町長の考えと具体的な手法は。

平良町長 海洋温度差発電施設の導入については、莫大な費用が必要であり、導入の促進を図るためには、ハワイ沖縄のワークショップの開催や、県海洋深層水研究所の既存施設での小規模発電などを段階的に実施することが需要。C.A.S.冷凍の導入については、今後導入可能かどうか、関係機関と連携をとりたい。鳥島射爆撃場が海洋温度差発電の障害になっているとは考えていないが、返還に向けて県知事や関係機関と連携したい。

問 銭田川改修工事に伴う自然回帰

久米島の売りは自然

答

宇江原 コンクリート護岸の撤去等について、具体的ビジョンとして、一つは銭田川改修工事に伴う自然への回帰。二つ目は清水小学校前から大原部落にかけてのシンリ浜のコンクリート護岸の撤去と潮害防備保安林の植栽を早急に県に対して要望し、実現を図ること。銭田川については、川辺にサガリバナやユウナを、土手の上部には桜や椿を植栽する。川には力ヌーを浮かべる等、観光のメッカとし、他の河川のモデルケースとする。自然を豊かにするということは、農業漁業を豊かにし、観光を活性化することで、これらの基盤でもある。

平良町長 自然の回復

▶銭田川で元氣よく泳いだ
こいのぼり(今年5月)



これも質問

問 久米島一周線のエコ道路と電柱の地下埋設
道路整備については県に対して要望していく



幸地良雄 議員

問 沖縄県消防広域化 体制は不公平ではないか

不公平は生じない。負担金増にならないよう協議を重ねている

答

幸地 県全体の消防広域化が平成24年度となっており、41市町村の内、38市町村が参加する事になっている。浦添市、うるま市、宮古島市が不参加で、消防救急無線デジタル化と司令センターについては全市町村が参加し、



共同整備することになっていく。この体制は不公平感があるかどうか。また、参加することにより負担金の増額にはならないか。
平良町長 消防救急無線デジタル化及び、司令センターの共同整備については広域化に参加しなくても対応できる計画で進んでいる。広域化への参加による不公平が生じることはない。負担金については、現行の各消防本部の消防費を基本とし、負担金の増額にならないよう協議を重ねている。

問 平成23年度施政方針 新たな施策について

町の活性化にむけて是非必要

答

幸地 海洋深層水複合利用事業導入について、揚水量は日量10万トンが必要だとのことだが、その進捗状況は。

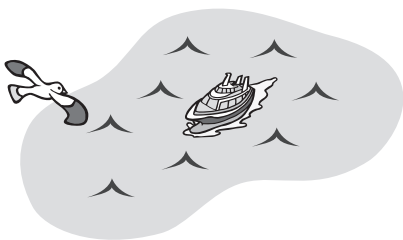
平良町長 拡張施設には莫大な費用が必要であるため、事業導入として海洋温度差発電を計画し、その促進を図るため、ハワイのコナ市と連携し、さらに県深層水研究の既存の施設で小規模発電の実証など段階的に進める。

幸地 高速船の導入やゴルフ場の開発について、(株)久米商船においては、フェリー更新は同じフェリーの大型化と聞いている。高速船はどうなるのか。又、ゴルフ場の開発場所はどこか。

平良町長 「フェリーなは」は現在の700トンから1000トンに大型化し、所要時間は直行で、3時間、渡名喜経由で3時間半と短縮される。高速船は

「フェリーニューくめしま」の代替えとして、久米商船と調整している。ゴルフ場は島尻地区を予定している。

幸地 農産物加工施設整備を特産品開発及び事業化は大変重要だと考えるが、その具体的内容はどうか。
平良町長 農産物加工施設は平成23年度24年度の継続事業となっている。内容は野菜の冷凍加工施設となっており、特産品開発及び事業化については商工会へ交付し、特産品開発や試験販売及び、消費者動向調査等を行う。



問 町税徴収方法に 問題はないか

法律に基づいて滞納処分の業務を行っている

答



崎村正明 議員

平田税務課長 債権の取り扱いに関しては、平成19年度から実施し

が。前年から行われていたの
崎村 今回、何件か債権差し押さえ通知書が個人の給与を差し押さえるように所属する会社宛に郵送されているようだが、これは以前から行われていたの

平良町長 債権、給料不動産の調査、差し押さえ等の滞納処分をし、徴収職員は納税者の平等性、徴収確保を図り、徴収強化に務めている。

崎村 納付期限を過ぎて滞納している町税は督促状発送後どのような方法で徴収を強化しているか。

どの誰か分かるような状況において、慎重に対応して頂きたい。

崎村 住民税、固定資産税、軽自動車税等は、町の貴重な財源であり、島で働く会社も限られ、

平田税務課長 文書勧告、催告、そういう手続きを踏むように職員に指導している。

崎村 会社宛に対して送付するのは、働いている人の信用に関する問題。段階を踏まえた手続きが必要ではなかったか。

ている。



ちばりよー東北! ちばろう日本!

Proud!
Japan

久米島町議会は3月11日に東北地方太平洋沖を震源として発生した地震及び津波の被災地に対し、沖縄県町村議会議長会を通じて義援金を送りました。また、久米島町長と議会議長連名で、各字の区長をとおして各世帯へ義援金の呼びかけを行いました。

大地震と津波は東北関東地方の多くの市町村が一瞬のうちに水没するなど、未曾有の被害をもたらしました。プロ野球東北楽天ゴールデンイーグルスの本拠地であり、本町と交流を深めている宮城県も大きな被害を受けました。また、平成5年に久米島で発生した台風13号災害で全国の皆様から多大なご支援をいただいたことなどから、今回の災害により被災された方々に少しでもお役に立ちたいと考えています。

久米島町でも、「東日本大震災」久米島町支援対策本部を設置し、取り組んでいます。(詳しくは広報くめじま、町ホームページをご覧ください)

議員一同、一日も早い復興を心よりご祈念申し上げますとともに、今後も協力・支援を行いたいと思います。

義援金および支援物資等の受付について

◎義援金募金箱の設置場所

- ・町役場 仲里庁舎 TEL 985-7120
- ・町役場 具志川庁舎 TEL 985-2001

◎支援物資の受付場所

- ・町福祉課(仲里庁舎) TEL 985-7124
- ・町総合窓口(具志川庁舎) TEL 985-2001
- ・久米島町消防本部 TEL 985-3281

*受付中の支援物資

- ・使い捨ておむつ(小児・大人)
- ・タオル(新品)
- ・簡易トイレ
- ・ボックスティッシュ

◎被災者児童生徒受入家庭の募集

- ・町役場プロジェクト推進室 TEL 985-7122

◎被災者受入支援のための支援物資の受付

- ・町福祉課(仲里庁舎) TEL 985-7124

*受付中の支援物資

- ・テレビ(地デジ対応)
- ・冷蔵庫
- ・洗濯機などの家電品

■ 平成23年 1 月 ■

- 4日 野菜・花卉合同出荷出発式に議長
- 5日 町新年会に議長ほか出席
- 7日 消防出初め式に副議長ほか出席
南部地区市町村議会議長会役員会・定例会、南部地区関係団体合同新年懇親会に議長出席
- 9日 町成人式に議長ほか出席
- 18日 家畜セリ市初セリに議長出席
- 22日 第16回久米島町新春書道展オープニングセレモニーに議長出席
- 26日 沖縄県後期高齢者医療広域連合議会議員全員協議会に議員出席
- 29日 TPP 交渉への参加反対に対する沖縄県民大会へ副議長ほか出席
- 31日 東北楽天ゴールデンイーグルス歓迎セレモニーに議長ほか出席

■ 平成23年 2 月 ■

- 4日 第1回臨時会
- 3日 東北楽天ゴールデンイーグルス町民交流会に議長ほか出席
- 5日 久米島桜まつりに議長ほか参加
- 6日 久米島袖の集いに議長出席
- 8日 南部離島町長議長連絡協議会行政視察に議長出席
- 9日 広報特別委員会
沖縄県介護保険広域連合議会定例会及び全員協議会に議員出席
- 10日 全国離島振興議長会理事会・定期総会に議長出席
民主党「島の振興」議連との懇親会に議長出席
- 14日 南部広域市町村圏事務組合議会定例会に議員出席
- 15日 沖縄県町村議会議長会定例理事会・定期総会・議長、事務局長懇親会に議長ほか出席
防衛庁要請行動に議長ほか出席
- 16日 沖縄県離島振興町村議会議長会議員研修会に副議長ほか出席
- 17日 町村議会議員・職員研修会に議長ほか出席
- 24日 沖縄県介護保険広域連合議会定例会に議員出席

- 25日 土地改良事業推進に関する農村振興座談会に議長出席

■ 平成23年 3 月 ■

- 1日 久米島高等学校卒業式に議員出席
- 4日 議会運営委員会
- 8日 沖縄防衛局調整会議に議長・副議長出席
- 9日 3月定例会開会（町長施政方針ほか）
- 10日 3月定例会（一般質問）
- 11日 予算審査特別委員会
南部地区市町村議会議長会役員会・沖縄県町村議会議長会臨時会
- 12日 町立各中学校卒業式に議員出席
- 14日 予算審査特別委員会
- 15日 予算審査特別委員会
- 16日 町振興計画審議会第6回会議に議長出席
- 17日 3月定例会
- 23日 町立各小学校卒業式に議員出席
- 24日 3月定例会閉会
- 29日 離島医療組合議会に議員出席
謝名堂駐在所開所式・懇親会に議員出席
- 30日 沖縄防衛局事務調整に議長・副議長出席

■ 平成23年 4 月 ■

- 7日 久米島高等学校入学式に出席
- 8日 各小・中学校入学式に出席
- 14日 新任教職員歓迎会に議員参加
- 17日 もずくの日エコマリンフェスタに議員参加
- 18日 議員全員協議会
- 22日 沖縄県パークゴルフ協会設立準備の意見交換会に議長出席
- 24日 東日本大震災チャリティーコンサートに議長ほか参加
- 27日 沖縄県離島振興町村議会臨時総会・研修会・懇談会に議長出席
- 28日 南部離島町長・議長会役員会・定例会、沖縄県町村議会議長会定例理事会、平成23年度県・市町村行政連絡会議に議長出席

2月臨時会で決まったこと

会期：平成23年2月4日

補正予算

可決

- 平成22年度久米島町一般会計補正予算（第6号）
3億3,518万円追加し、総額79億4,650万円
- 平成22年度久米島町下水道事業特別会計補正予算（第3号） 325万円増額し、総額2億6,850万円
- 平成22年度久米島町老人保健特別会計補正予算（第2号） 538万円減額し、総額122万円

- 平成22年度久米島町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号） 408万円減額し、総額7,596万円

条例策定

可決

- 久米島町妊婦等支援基金設置条例
妊婦等を支援する事業を行うために、財源を弾力的に活用できる基金の設置

**議会を傍聴
しませんか？**

次回定例会は **6月15日(水)** 開会予定

手続きは簡単。議会事務局（仲里庁舎2階）で、住所と名前を書くだけです。

3月定例会傍聴者人数▶ 3月10日(木) 15人 3月24日(木) 21人



3月10日
(木)大岳小学校6年生14人が議会の見学に訪れました。この日は一般質問を傍聴、自分たちの身近な事について話し合っている様子を見て、感謝のお手紙をいただきました。抜粋して紹介します。



住みやすい町にするため、一生けん命話し合っていてすごいと思いました。安全な町を作っているのが今の私達の生活があると思いました。
宮里 恵美里

議員の人はむずかしい話をしていたけど、それは、久米島のためだと思いました。見学は、良い経験になったと思います。
宇地原 竜樹

話し合いは1つのことではなく、何個かの話を話しているから、大変だと思いました。議員はみんなのことを考えているのですごいと思いました。
仲地 英美里

見学して分かったことは、話し合ったことを全部録音して、永久に残るとのこと、議員は4年に1度決めるということです。
安里 光司

議員の人は自分の事だけでなく、どうしたらみんなが楽しく暮らせるようになるか、いろんなアイデアを出す所がすごいと思いました。
山里 瑠香

議会を見学して、今、久米島でほくたちが知らない問題がおこっていると知りました。質問に対応する人たちがいたのすごいと思いました。
吉永 凧

道路設備や祭りのことを話していました。この議会があってこそ、今の久米島町や私たちができているんだなと思いました。
幸地 真彩

議会を見て知ったことは、質問する時、一般質問席に移動することです。名前のほかにも、番号があるのがふしぎだなと思いました。
本永 悠斗

議長が久米島の問題を言い、議員が意見を言うと思っていたら、議員のみなさんが久米島町の事を中心に意見を言っていました。
中村 磨呂

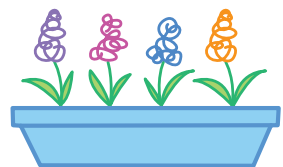
質問が30分以内と聞いてそんなに長く質問するのがびっくりしました。久米島のことを考えて質問していました。
国吉 浩一郎

観光客がたくさんこれるようにゴルフ場を作ったらどうかなど、こんなことも考えているので、すごいなと思いました。
宮里 優華

ほくがすんでいる久米島町をよりよくするために、いろんな話をされていて驚きました。これからも久米島町のためにがんばってください。
与那 一史

私たち小学生のためにも考えてあげているので嬉しいと思いました。これからも久米島のため、未来のためにがんばってほしいです。
与那 未諭

学校車のことや桜まつりの事など色々質問があって、ちょっと難しかったけど、とても良い経験になりました。
新里 心



旭日単光章受賞 新里 昌永さん おめでとうございます

地方自治功労者に対し授与される高齢者叙勲で、新里昌永さん(字山里)が旭日単光章を受賞されました。

3月11日(金)、沖縄県知事公舎レセプションホールで行われた叙勲伝達式では、妻の初枝さんのほか、親族6人が参加し、勲記と勲章を授与されました。

新里さんは昭和44年3月に具志川村(現久米島町)議会議員として初当選して以来、3期12年在職しました。その間、常に住民の声を聞き、地域の現状と問題点をひまふ、重点的、効果的な生活基盤、生産基盤等の整備を行政と一体となって推進しました。また、昭和62年

から14年間、久米島交通安全協会長として、組織の育成と地域の交通安全施設の改善や交通事故防止の啓発に務めました。受賞は地方自治の発展のために尽力してきた新里さんの功績が認められたものです。

この度の輝かしい受賞に心からお祝い申し上げます。